

みんなの 町議会

第11号

2007年7月

 神石高原町

7,224万円を増額
(一般会計) ……2



楽しい給食 一小品保所

売上3億円を達成！(182ステーション) ……	3
不審火への対応は(一般質問) ……	4
なぜ試行運行か、福祉タクシー(事項別質問) ……	9
安田ファミリーの会(グループ紹介) ……	12

平成19年度

7,224万円(一般会計)の

補正予算を可決

切田野球場に

電光掲示板を設置！

6月定例会は、20日から22日まで開かれました。
平成19年度各会計補正予算(6月補正)、神石高原町立学校設置条例の一部を改正する条例についてなど15議案、税条例改正について専決処分報告2件、議員提出による地方の道路整備の促進に関する意見書1件など18案件をそれぞれ原案のとおり可決承認しました。

平成19年度6月補正予算は、一般会計で7,224万円増額し99億6,224万円、特別会計で2億8,562万円増額し、64億9,102万円となりました。

主なものは、一般会計では、「福祉タクシーの試行運行の経費」として126万円、「県立神石三和病院対策室の経費」として1,060万円、新たな事業としての「ひろしまの森づくり事業」に3,515万円、「自然公園管理経費」としてスコーラ公園整備などに552万円、切田野球場への「電光掲示板設置・フェンス修理費」として4,095万円などそれぞれ追加補正されました。また3月議会にて提案され可決した特別職一般職人件費7,091万円が減額補正されました。特別会計では、国民健康保険会計で、財政調整基金に3,000万円を積立、簡易水道会計で、給水管設置経費として2,660万円などそれぞれ計上されました。また特別会計分人件費1,880万円が減額補正されています。

また、第3セクター各社、農業公社の経営状況の報告がありました。各社とも厳しい状況の中で努力され売上増となっています。

6月補正予算

単位：万円(四捨五入)

会計名	当初予算額	補正額	補正後の額
一般会計	98億9,000万円	7,224万円	99億6,224万円
国民健康保険	13億6,590万円	5,530万円	14億2,120万円
老人保健	23億9,900万円	1億7,548万円	25億7,448万円
介護保険	16億4,750万円	2,778万円	16億7,528万円
簡易水道事業	5億1,230万円	2,345万円	5億3,575万円
飲料水供給施設事業	3,480万円	0	3,480万円
農業集落排水事業	2億4,580万円	361万円	2億4,941万円
分収育林事業	10万円		10万円
合計	160億9,540万円	3億5,786万円	164億5,326万円

平成18年度 第3セクター・農業公社 決算状況

(H18/4/1 ~ H19/3/31)

万円以下四捨五入

会 社 名	売上収益 その他収入	(内 委託金・補助金)	売上原価 その他費用	当期純利益
㈱ 帝 釈 峡 ス コ ラ	1億2,264万円	779万円	1億2,569万円	▲23万2,456円
㈱ さんわ182ステーション	3億1,044万円	208万円	2億4,968万円	197万417円
㈱ 油 木 特 産 販 売	1億378万円	18万円	1億368万円	7,518円
㈱神石高原直売公社まるごと市場	2億5,397万円		2億5,195万円	190万3,541円
㈱ 神 石 高 原 農 業 公 社	6,521万円	450万円	6,653万円	104万6,288円

こんな質問がありました

問 第3セクターの中には、運営補助を受けながら黒字を出し、税金を払っている。このことはどうか。

答 独立採算が原則であり現在は是正措置に取り組んでいる。

問 ㈱神石高原直売公社の棚卸額が他店に比べ極端に少ないのは。

答 加工品など、保存可能なものが少ないため。

問 ㈱神石高原農業公社の定款を変更した理由は。

答 遊休地でトマト栽培等行ない売り上げを増やし、自らの経営努力により利益を増やすため。

問 ㈱神石高原農業公社の運営補助金600万円を450万円にしたのは。

答 決算精査の中で150万円辞退の申し出があった。予算計上が過大の場合、支出の時に検討している。公社の場合、独立採算制を追求し、受託料を高くすると利用者の減少をまねく。これは農地荒廃につながる。

問 トマト工房は赤字でも続けるのか。

答 トマトの加工とあわせ、販売促進に努力する。

問 ㈱帝釈峡スコラの管理委託料70万円の減額は、18年度予算で委託料を10%カットしたため。

あなたの声を 町政に

一般質問

1問1答方式で行いました。

質問時間は1人30分です

問 井関定住団地を中止せよ

答 中止は考えていない

Q 総事業費7億2,000万円、町負担5億6,000万円の計画で、その内町道分は補助があり、残りは殆ど借金である。事業費が膨らむと予想され、財政負担

が大きいと考え中止を求める。財政健全化を進めている中、一方では予算の削減、一方では借金をして大きな事業を進める手法に理解が得られるだろう

か。分譲計画がはつきりしないし、売れ残った場合の行政責任はだれがどのようにとるのか。開発は民間業者に委ね、町は進入路等の付帯事業にとどめるべきでは



久保田龍泉議員

A 町長

民間責任事業組合が設立され受け皿ができた。定住が目的で人口減少を食い止めるものである。財政再建元年と位置づけて一方では借金をしながら、将来に希望の持てる取組みとの二本立てでやる。分譲は組合が町と一体

となって責任を持って完売する。売れ残ったからといって期限を切って責任を取ると言うものではない。中止は考えていない。

Q 耕作放棄地の荒廃が著しく、地域の環境が悪化している。本来所有者が雑草を除去すべき

だが、高齢や不在地主等で管理できていない。地域での草刈を支援し、環境を守れないか。

A 町長

農地の荒廃を防ぐ草刈りに町費を使うのはいかがか。農業委員会が荒廃地の調査をしており、利用方針が出て予算付けをする。



桑木町の水車と菖蒲園



とよまつのトマト選果場

問 不審火にどう対処するのか

答 警察・消防・防犯組織と連携し対応

Q 連続不審火の早期解決と、犯罪のない安全・安心のまちづくりへの取り組みは。

A 町長 住民の不安解消のため、不審火の一刻も早い解決を望んでいる。

警察・消防等の関係機関との連携と協力をさらに高め、早期解決に取り組む決意である。

福山東地区防犯組合連合会・安全推進委員会を中心とした青色回転灯装着の防犯パトロール活動を各地域で実施している。

パトロールにも限界があり、住民一人一人が身の回りの犯罪発生状況や防犯

に関する情報を敏感に感じ、自らの身は自ら守るという意識の浸透と、犯罪被害にあわないための自主的行動の広がりも必要と考えている。今後とも警察・消防関係機関並びに防犯団体と連携を図り、安全安心のまちづくりへ取り組み決意である。



審定秀幸議員

Q 被害にあった公共的建物の復旧計画は。

A 町長 緊急性のあるものを優先し支援する。

Q 天神原管理棟は、広島市の森づくり事業の補助（9月補正）で対応する考えである。

A 教育長 学校の防犯対策は、

Q 教育長 施設の確認・校舎の周りに燃えやすいものを置かない・見回りの実施

等行っている。さらに、夜間・休日に校内への車両の侵入を防ぐため、一車止めを設置し対応する。



消火活動

問 食育推進計画の進捗状況は

答 検討委員会等で調整中

Q 食育推進計画は推進協議会を設置して策定すると3月議会で答弁された。進捗状況と策定の時期、各課の取り組みは。

A 町長 神石高原町「食の町づくり検討委員会」を設置した。

中長期的な視点から食育の町づくりに関する、施策・事業の総合的調整を行い、計画的な食育の実施を推進する。副町長をはじめ、関係する各課長で組織する。

事業の総合的調整を図るため、ワーキングスタッフを設けて検討する。

今まで委員会は3回実施。6月下旬に1回目のワーキング会議を開催予定。

食育を担う場は家庭や地域、学校であるが、指導的役割を担うのは保健医療であり、教育・農業分野で、それぞれが連携して進める必要がある。



赤木健二議員

各関係課は諸問題に対する指導的立場での取り組みが必要である。

時期については、食生活をめぐる現状把握と課題の整理のため、アンケート調査などを実施する。町民が取り組む具体的な施策・推進目標を盛り込み、地域・関係団体・

行政が連携して協働で進める体制作りも併せて行いたい。

Q 形式にとらわれず、本質を外れない独自性のある推進計画を。

A 副町長 地域にあった食育を進める決意である。

問 地球温暖化への対策は

答 古紙100%使用は検討する

Q 地球温暖化に対してどう取り組んでいるか。古紙100%含有のコピー用紙は製造過程で化石燃料が増加し「エコ」にならない。その上、価格が高い。使用を古紙70%程度の再生紙に変更したらどうか。

A 町長 平成19年度より5年間、温暖化対策実行計画を策定し実行している。

A 総務課長 古紙100%の再生紙を使用しているが、70%再生紙の方向で検討する。



木野山孝志議員

Q 新緑の季節となり山々を見渡すと松の無残な姿が目につく。早急に対策を打ち出せ。

A 町長 伐倒駆除を早急に且つ積極的に行わねばならない。森林税を松枯れ対策に最優先に使用するようになりたい。総合的に検討する。

Q 町内の観光施設に万一の事故が発生した場合の責任は。

A 町長 遊具は7施設に49基あるが、点検は年度当初に実施している。事故が発生した場合の責任の取り方は事故の状況による。遊具を常に正常な状態に置くよう管理する。

Q 他市町村との姉妹縁組は検討しているか。交流を通して活性化を図れ。

A 町長 町政は課題が多く姉妹縁組は最優先課題ではない。時期が来たら行う。事の始まりは民間活動でも良い。交流は幅広く行う事が肝要だ。



松枯れ伐倒処理

問 県病院・町への移管は

答 来年4月の移管は困難では

Q 県は、県立神石三和病院を、来年4月に町に移管したいと言っているが、町からの要望に対して具体的な回答を示さず、協議が進んでいない。来年4月の町移管は無理では。

A 町長 町の要望に対し、県は、概ね理解されているので、粘り強く条件交渉を行う。

Q 不燃ゴミ・粗大ゴミを、クリーンセンターで中間処理を行い、ゴミの量を減らせば、町費の節減になる。粗大ゴミの収集も、クリーンセンターで行うよう総合的に検討すべきではないか。

A 町長 現在クリーンセンターは、概ね理解されているので、粘り強く条件交渉を行う。



松本彰夫議員

Q 改良センターの開所に伴い、記念式典、記念碑の建立を県に要望すべきでは。

A 町長 開所に併せ、新しい運営組織の出発を記念する式典を行いたい。記念碑の建立と併せて県に働きかけたい。

A 町長 現在クリーンセンターは、概ね理解されているので、粘り強く条件交渉を行う。



消防大会

問 穀物価格上昇で家畜農家への影響は

答 自給飼料生産が重要に

Q 当たり前の常識が崩れ始め、世界各地でバイオ燃料の拡大を招き、農作物がエネルギーに転換している。

稲わらは、安価な中国産に頼ってきたが、中国で牛の伝染病・口蹄疫が発生、2005年5月から輸入禁止で不足気味と

なり、全農の配合飼料価格は上昇している。

A 飼料の値上りに対する助成策は、

本年、10分の飼料稲作を見込んでいます。大きく変化する時期に、国内の農業を建て直すチャンスが来ている。元気を出

して世界情勢に対処して頂きたい。

A 産業界は、町独自では無いが、全国配合飼料安定基金で1トンあたり4,000円の補償がある。

Q 生産米の「適正生産数量」は、ここ数年



村上克朗議員

で変化している。状況は、**A** 産業界は、18分の余裕で米生産が進んでいない。

Q 従来の転作助成金を見直し、飼料稲への支援対策に高額助成や作業委託の促進、生産組織づくりなど今後の転作で安定的な経営ができる農林政策の確立が必要である。

神石高原和牛の里再構築プロジェクトの計画に、集落法人等との連携による飼料自給率の向上と経営安定計画があるが、その具体策は、**A** 産業界は、

生産法人では産地づくり交付金の助成で、ホールクロップサイレージには10分で8万円である。



荒廃地への牛の放牧

問 消防団員に特別手当の支給を

答 新たな対応を検討

Q 連続不審火は5カ月に及び、消防団員の心身疲労はピークに達している。特別手当の支給を考えるべきでは。

A 町長 活動交付金を前倒して6月6日に交付した。長期にわたれば新たに対応するよう考えている。

Q 5カ月にわたっており既に長期といえる。3年分の発生であり、9月補正で物心にわたり対応すべきでは。

A 町長 前代未聞・有史以来のできごとなので、既定予算でおしまいとは思っていない。

Q 不審火による行政態勢の中断は「元気をだす町づくり」に逆行する。住民の不安払拭のためにも速やかに再開すべきではないか。

A 町長 計画どおり実施し、動じないことも必要だが、終息してからとは思って



瀬尾征雨議員

いない。タイミングをみて早く再開したい。

Q 油木公民館長が不在だが、任命権者の管理責任は、

A 教育長 責任は重く受け止めている。大変申し訳なく思っている。

1カ月最大限の努力をし、できなければ業務で

対応していきたい。

Q 町農業法人協議会が設立された。町のバックアップは設立後が重要ではないか。

A 町長 今年度は何らかの方法で支弁し、これからバックアップしていきたい。



カイハラ増設工事

問 油木高校への志願率アップを

答 PRが必要

Q 県立油木高校存続について、町長をはじめ教育長、更に地域住民は何れも大きな期待と使命感を持っている。

県も特色ある学校と認め「地元中学校からの進学率・在籍率が高く、地元の熱意が高いので統廃合の対象としない」方針

をだしている。

しかし県の見解に合致しない事態が生じると存続が危ぶまれる。今年度地元生が油木高校を志願しながら、定員オーバーが予測され、他校への志願変更で、結果的に定員割れが生じた。その解消策をすべきで

はないか。

A 教育長

油木高校のPRが有効な手段と思う。油木高校の取り組みと成果は顕著に表れており、その事を、生徒・保護者、地域の方が認知して頂くことが重要である。一方、高校・中学校で

は必要な対応策をそれぞれ進めており、更に、それらを確実に実行していくしかない。

Q 地元生の志願・在籍率を上げるため、進路指導での中高の連携調整はできないか。

A 教育長
油木高校の取り組みの成果は顕著に表れているし、その評価はできている。定員枠がある中で、志望する生徒が一人でも多く受験できるように、中高連携等調整を図ってきたい。



小林 貢議員

問 工業団地の造成を

答 小規模の団地を考える

Q 若者定住対策、活性化対策としての、工業団地の造成、工場誘致が必要ではないか。

A 町長
活性化対策を考える上で働き場の必要性は認識しており財政力を考えながら小規模の団地等考えていきたい。町の工

場等設置奨励条例などで側面的に支援していきたい。

Q 国道182号未改修(油木)部分の工事を急ぐべきではないか。

A 町長
地権者と協議・努力している。

Q 国道182号未改修(油木)部分の工事を急ぐべきではないか。

Q 国道182号の福山市部分の改修を要望しては、

A 町長
備後地区建設促進協議会で歩道、登坂車線の付いた改修について要望している。第2期の産業団地からのバイパスについても検討要望していきたい。



藤田晃己議員

たい。

Q 保育料・給食費の未納の状況は、

A 福祉課長
保育料は18年度で(9名)141万3,000円、給食費は(1名)2万6,020円である。

Q 町営住宅の入居状況と今後の考え方は、

A 町長
入居率は、合併時

Q 団塊世代のUターン帰農の支援策は、

A 町長
帰農者に町をあげて総合的に指導、対策を講じて行きたい。

Q 団塊世代のUターン帰農の支援策は、

A 町長
帰農者に町をあげて総合的に指導、対策を講じて行きたい。



油木高校 | IT授業

少し細かな質問

問 福祉タクシー試行運行は

小林 貢議員

Q おでかけタクシーは本運行に移って1年が経過し、100%に届かずとも、利用者から効果的に活用されている。

A 企画課長
等数字で表せない必要部分もある。利用者・業者・行政がそれぞれ協議し、譲り合い、満足度の高いシステム構築のための試行延長と予算でなければならぬ。

アドバイスも得ながら業者とも協議の上、一応の数字をだした。この需要が多いとすれば、介助等必要もあることから、どう精算していくかは本格運行をはじめるまでにはキチツと整理したい。

問 林道大古瀬線交通止めの解除は

松本彰夫議員

Q 林道大古瀬線の災害復旧の工法、工期、通行止めの解除は、建設課長

A 今年度は県費の補助が得られず、単町費で、押さえ防災ネットを120m、施行。
来年度、県の補助を確保して、ポケット式ネットを施行する。
落石の危険があり、今年度の工事が完了しても通行止めは解除できない。

問 スコラの事故対応は

瀬尾征爾議員

Q スコラの交通事故に係る損害賠償は全額公金であるが、議会の議決は必要なのか。

A 総務課長
一時立替金として使うもので、広義に解釈してもらいたい。

Q 不審火による建物火災復旧に迅速な対応をしているが、補助制度は。

Q 福祉タクシーは7月から本格運行と聞いていたが何故試行運行となったのか。

A 企画課長
福祉タクシーの利用者の選択・決定が難しい事、障害者対策としては効果が疑問など福祉関係担当課から福祉タクシーの必要性に疑問符が付けられたので総合的に判断

Q 福祉タクシーは7月から本格運行と聞いていたが何故試行運行となったのか。

木野山孝志議員

A 総務課長
賠償者が町当局でなければ必要ないと考えている。

Q 事故に係る一連の経費の精算はどのようになるのか。

A 総務課長
集会所建築に係る補助制度で、建設費の50%以内、限度額300万円に対応している。

Q 福祉タクシーの利用者の選択・決定が難しい事、障害者対策としては効果が疑問など福祉関係担当課から福祉タクシーの必要性に疑問符が付けられたので総合的に判断

Q 福祉タクシーの利用者の選択・決定が難しい事、障害者対策としては効果が疑問など福祉関係担当課から福祉タクシーの必要性に疑問符が付けられたので総合的に判断

Q 福祉タクシーの利用者の選択・決定が難しい事、障害者対策としては効果が疑問など福祉関係担当課から福祉タクシーの必要性に疑問符が付けられたので総合的に判断

Q 賠償金を基金から支出するのは基金条例に違反しないか。

A 総務課長
十分検討の必要があり、結果は具体的に示したい。

Q 福祉タクシーの利用者の選択・決定が難しい事、障害者対策としては効果が疑問など福祉関係担当課から福祉タクシーの必要性に疑問符が付けられたので総合的に判断

Q 福祉タクシーの利用者の選択・決定が難しい事、障害者対策としては効果が疑問など福祉関係担当課から福祉タクシーの必要性に疑問符が付けられたので総合的に判断

Q 福祉タクシーの利用者の選択・決定が難しい事、障害者対策としては効果が疑問など福祉関係担当課から福祉タクシーの必要性に疑問符が付けられたので総合的に判断

Q 福祉タクシーの利用者の選択・決定が難しい事、障害者対策としては効果が疑問など福祉関係担当課から福祉タクシーの必要性に疑問符が付けられたので総合的に判断

問 学校の防犯対策は

寄定秀幸議員

Q スペースガードの詳細と、具体的な設置計画は。

防犯灯や防犯カメラの設置をすべきでは。

A 学校教育課長
車両の侵入を防ぐ、ステンレス製の柱とチェーンによる車止めである。小学校4校、11カ所と中学校3校、3カ所設置する。

外灯や、防犯カメラの設置も検討したい。

Q 火災により断線している天神原管理棟の電気を早期復旧せよ。

A 生涯学習課長
漏電防止の対策をして外部電源の利用で対応する。復旧は今しばらく待っていたきたい。

問 病院対策室の経費は

久保田龍泉議員

Q 県が病院経営のシミュレーションを委託したが、結果が信頼できなかった。

今度、町が病院経営実態調査を委託するが、信用できる業者か。

A 副町長
県の委託先は信頼できなかつた。今度には医療経営コンサルタントに委託

し、ベッド数、診療科等地域の実情にあった、具体的な数字を出してもらおう。

町と県の人事交流により引き受けた所が人件費をもつ。それ以外はなく予算措置はしないが、今後財政支援も加味する。という口頭の確認しか出ていない。

Q 福祉タクシーにかか

A 企画課長
当初4月～6月まで試行運行の予定だったが利用効果が少なく、試行運行を延ばす。月40回の利用で、試行運行分の経費である。



グラウンドゴルフ大会 (牧)

委員会報告

保育所の公設民営化について調査

福祉文教常任委員会

①庄原市保育所公設民営化について調査

調査の日時

平成19年5月18日(金)

庄原市には、18の市立

保育所があり、このうち、

公設民営化(民間委託)の

保育所が4カ所あります。

②東城保育所(定員17

0名に対し、151名入

所。東城有栖会を指定管

理者)。

③三日市保育所(定員80

名に対し、81名入所。庄

原市総合サービス(庄原市

100パーセント出資の

株式会社を指定管理者。

④庄原北保育所(定員60

名に対し、69名入所。庄

原市総合サービスを指定

管理)。

⑤数信(シノウ)みのり保育所(定員110名に

対し、90名入所。数信

村農吉(地域住民が立ち

上げた会社)を指定管理

者)。

⑥なぜ民営化をするので

すか?

政改革大綱のなかで、同一経費による場合はサービスの拡大を、サービスが同一の場合は経費を削減する工夫が必要である。保育所の管理運営において指定管理による公設民営化方式をとることと

しました。

⑦「ゆき作業所」の視察

「障害者自立支援法」

施行後の実情を、通所者

約20名より直接、困るこ

と、不安なこと、要望等

を聞きまし。とりわけ、「仕事をさせて欲しい」という要望が強くありまし

た。当委員会として、早速関係部署(福祉課は勿

論、教育委員会、環境衛生課等)に実情を伝えまし

19年度施行予定の路線などを現地調査

産業建設常任委員会

調査の日時

平成19年5月23日(木)

調査力所

県工事 小島バイパス

外8路線

町工事 農道東山方線

外6路線

調査の結果

▼道路工事

公共事業が縮小する

中、県工事も予算が厳しく、用地問題が解決しな

く、用地問題が解決しな



農道東山方線

いと予算も削減・カットされる。

困難とは思うが、用地問題など未解決の事業について、解決に向け全力で対応されたい。

町道、農林道についても限られた予算を有効に活用するため、県道などと重複しないよう計画されたい。

先進的農家の視察

▼トマト農家(新規就農者)

農業後継者不足と、高齢化が進む中、転職し、新規にトマト栽培に取り組む兄弟のほ場を視察。

新規就農者であるが、親がトマト農家という恵まれた条件ではある。新たにほ場を造成される等設備投資は大変と感じた。

町の補助は有効に活用されているが、新たに転入し就業する場合は土地、水などの紹介、斡旋が必要である。

▼新内農園

5・5畝の畑にコンニャクを栽培し、原料が

ら製品の製造・販売までの一貫経営がなされている。新製品を開拓し、意欲的に経営されている。雇用、農地の有効利用に大きく貢献されている。生産部門(コンニャク栽培)の後継者が課題である。

主要事業の調査

総務企画常任委員会

調査の日時

平成19年5月23日(木)

①ふるさとふれあい事業事業費の支払いは、事業実績報告が提出されてから翌月には支払いするよう求めた。

②財政健全化の取り組みと今後の計画

当面新規・単独事業は極力抑え、減債基金への計画的な積み立てを行い歳出分野で聖域無き歳出削減が急務と思われる。

③おでかけタクシー事業計画

福祉タクシーは、試行運行期間である。福祉課での対応となる。

意見書の提出

提案者 松本彰夫 議員
賛成者 小川清治 議員

地方の道路整備の促進に関する意見書の提出について

地域内外の交流と連携を支える国道182号や主要地方道の広域的な道路網から、教育医療福祉といった生命線となる道路の整備まで、道路整備は本町の極めて重要な課題となっている。

昨年末に、道路特定財源の見直しに関する具体策が示され、見直しの作業が進められているが、引き続き道路整備の推進が強力に図られるよう要望するものです。

地域内外の交流と連携を支える国道182号や主要地方道の広域的な道路網から、教育医療福祉といった生命線となる道路の整備まで、道路整備は本町の極めて重要な課題となっている。



ゆき作業所

元気な グループ紹介



安田ファミリーの会

カウントダウン花火大会 (安田ファミリーの会)

「10・9・8・7・6・5・4・3・2・1」

数百年のカウントダウンとともに、新年になったばかりの夜空に

ドーン・パン・パン

歓喜の音と虹色のシャワーが頭上に舞い降りる。

「安田ファミリーの会」

は、当初は、数家族での交流会からスタートしました。2000年のミレニアムカウントダウン花火大会を機に安田地区全体の協力を得て、大晦日の花火大会と夏のバーベキュー。

特に花火大会は、年々地区外からも大勢の参加があり、盛大なイベントになり、皆さんに楽しんでいただいています。

大会は、全て安田を応援してくださる方の寄付で運営しています。

一年で一番忙しい大晦日の朝から、家を顧みず「紅白歌合戦」と「世酒打ち上げ花火」に贈られる大勢の人の歓声を聞き、スクリーン等の会場設置、暖をとる為の焚き木集め、大鍋での豚汁を、寒さと闘いながら準備します。

夏のバーベキュー大会も、そうめん流しに焼肉、お寿司にケーキと盛りだくさんのメニューとなっています。

映画鑑賞にひたりながら、久しぶりに会う友と語りながら、賑やかな一夜を過ごします。

これも、安田は元気があつてええのう。」と

私たちが町は、金はなくとも、災害が少なく、人情の厚いことがよいところだ。しかし、その事を覆す不審火が相次ぎ、前代未聞の不審火の非常事態宣言がだされ、2カ月が経過しました。

編集後記

火災により多くの損害が出ています。それ以上に精神的なダメージが大きいと思います。

安心して眠れない不安、人々に潤いと交流を与えてくれる様々な行事や催し

言ってもらえるように、また、安田から巣立っていく子ども達が、ふるさとを自慢出来るように頑張ってもらいますので、ご支援よろしくお願いいたします。



カウントダウン花火

物も中止され、人々の気持ちは、益々さんで行きま。人の交流が少なくなり、商店の売り上げも大幅にダウンするなど、思いがけない所にも被害が出ています。梅雨あけとともに、事件が解決する事を願っています。